

『空想する力』から一步踏み出す

かつての「子どものためのアニメーション」これからの「大人のためのアニメーション」

ーなくならせないために、先へ延ばすために、
もっと広げてゆくために。共通の考え方、共通
の技術基盤を共有するスタッフたちを作り出
す場所を設けること。さらには「作った映画を
観る人にどうやって届けるのか、行き渡らせ
るのか」ということまでも、映画を作る自分た
ちの事として考えていくこと。ー

これまで『この世界の片隅に』『マイマイ新子と千年の魔法』など多くの作品を世に生み出してきた片渕監督。強い信念のもとで現在も新作アニメーション『つるばみ色のなぎ子たち』の制作に取り組んでいる片渕監督が、作品にまつわる考証や研究をどのように行っているのか、また、会社設立や作品制作にあたっての資金調達や広報・宣伝活動、技術継承について語ります。



アニメーション映画監督 片渕須直講演会



片渕須直（かたぶち・すなお）

2025年 7月2日（水）
10：20～11：50
第9講義室（2号館1階）

1960年生。アニメーション映画監督。日本大学芸術学部特任教授・上席研究員。

監督作はTVシリーズ『名犬ラッシー』（96）、『BLACK LAGOON』（06）、長編『アリーテ姫』（01）、『マイマイ新子と千年の魔法』（09）、『この世界の片隅に』（16）、『この世界の（さらにいくつもの）片隅に』（19）など。疫病の中に生きる千年前の人々を描く『つるばみ色のなぎ子たち』を制作中。



主催：鹿児島県立短期大学 人文学会・商経学会（合同開催）

©つるばみ色のなぎ子たち製作委員会／クロブルエ

©2019この世界の史代・コアミックス / 「この世界の片隅に」製作委員会

©高樹のぶ子・マガジンハウス / 「マイマイ新子」製作委員会